

製品名: Rag C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16861**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ELISA,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000,IP 1:50-1:200 |
| 分子量 | 44kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | RRAGC |
| 別名 | RRAGC; Ras-related GTP-binding protein C; Rag C; RagC; GTPase-interacting protein 2; TIB929 |
| 遺伝子 ID | 64121.0 |
| SwissProt ID | Q9HB90 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト RRAGC 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 302-351 |

背景

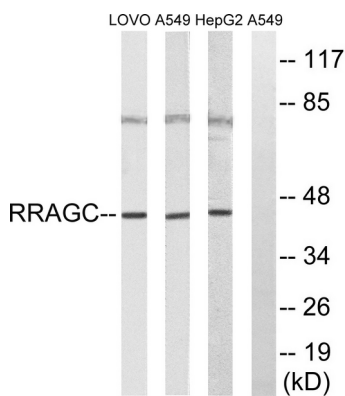
この遺伝子は、GTR/RAG GTP 結合タンパク質ファミリーのメンバーをコードします。コードされているタンパク質は、RRAGA およ

び RRAGB とヘテロ二量体を形成し、主に細胞質に局在する単量体グアニンヌクレオチド結合タンパク質です。コードされているタンパク質は、mTOR 複合体の細胞内局在を促進します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2012 年 12 月],機能: グアニンヌクレオチド結合活性を有しますが、内因性 GTPase 活性は弱いです。類似性: GTR/RAG GTP 結合タンパク質ファミリーに属します。細胞内局在: 主に細胞質内。結合した RRAGA のヌクレオチドの状態に応じて、細胞質と核の間を往復することがあります。サブユニット: 配列非依存的に RRAGA とヘテロ二量体を形成します。GTP に結合します。NOL8 および RRAGB と相互作用します。、

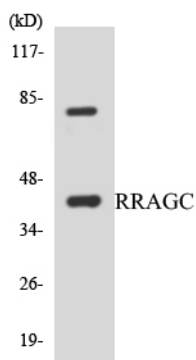
研究分野

mTOR

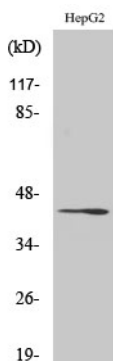
画像データ



RRAGC 抗体を用いた HepG2 細胞、A549 細胞、および LOVO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



RRAGC 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



Rag C ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

